

## 注意事項

## 警告

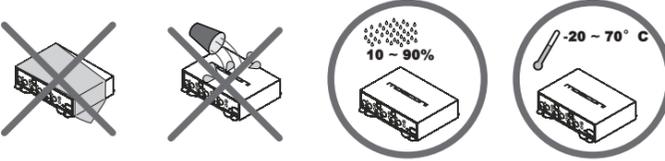
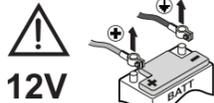
12ボルト（－アース）車にのみ使用のこと

作業前にターミナルを外してから作業を行ってください。

現在の負荷、ケーブルの長さ合ったパワーケーブルとゲージを使用してください。

当マニュアルの表は安全使用できる最小ゲージを示しています。

可能な限り利用可能な最大のゲージを使用してください。



## WARNING! CAUTION:

問題が発生したらすぐに使用中止してください

順守しない場合、ケガや製品の故障につながる可能性があります。

修理は認可されたMOSCONIディーラーまでご連絡ください。

製品の修正や改造を行わないでください

事故や火災、感電を引き起こす可能性があります。

製品の修正や改造を行うと、明示・黙示どちらの保証も無効になります。

製品の取り付けや接続は専門家が行ってください

取り付けや接続には専門の知識や経験が必要です。

安全のため、正しい取り付けには必ず認可された専門店へ連絡してください。

極端に湿度の高い場所や埃のある場所での取り付けはしないでください

過度の湿気や埃のある場所での取り付けは避けてください。製品内に湿気や埃が入ると製品の故障につながります。

表面が感熱しやすい場所での取り付けはしないでください

アンプが80℃を超える温度に達したり、感熱した表面にすれたりすると火災の原因や、表面の損傷を引き起こすことがあります。

ドリルで穴を開ける間際、チューブやケーブルを傷つけないでください

取り付けのためドリルでの穴あけを行う際は、チューブ、燃料パイプ、燃料タンク、電気ケーブルを傷つけない、ふさいだり、触れたりしないよう細心の注意を払ってください。これらの事前注意を怠ると、火事や故障を引き起こします。

通気口やヒートシンクパネルをふさがないでください

通気口やヒートシンクパネルをふさぐと、アンプの内部温度の上昇を招き、火災の危険に繋がります。

この製品は12V車にのみ使用してください

12V車以外に使用すると火災や感電、その他の事故を引き起こします。

製品を取り付ける前に、バッテリーのマイナスターミナルを外してください

ショートにより感電や故障、ケガをすることがあります。

火災の危険や製品の故障を防ぐため、適正基準を満たしたケーブルを使用し、接続の両極性に十分注意したうえで、適正な接続を行ってください。

ケーブルが車の部品に絡まないようにしてください

取付説明書に従い車両運用を妨げることがないよう、正しく接続してください。ステアリング部品、ギアレバー、ブレーキペダルに絡むと危険です。

ケーブルが先の鋭利な金属により曲げられたり、圧縮されたりしないよう正しく配置してください シートレールのような可動部品や製品内部の金属で角ばった鋭利な部分、先のとがった部品に、ケーブルが直接触れないように配置してください。金属部に穴を通す場合はゴムスペーサー等を使用し、奥の部品を先の尖ったもので損傷させないようお気をつけください。

アース接続を行う際は、ステアリングやブレーキシステムに属するボルトは使用しないでください アース接続を行う際は、ステアリング、ブレーキシステムそのほかの安全装置、燃料タンク等の固定用ボルトを決して使用しないでください。これらの固定用ボルトを使用すると、車両制御不能や事故、火災そのほかの損傷を引き起こすことがあります。ヒューズに関しては定格アンペアを使用してください。基準値以外のヒューズを装着した場合火災や感電が起きる可能性があります。

正しい付属品を使用し、取付説明書に従ってください

必ず指定の付属品を使用して下さい。他の部品を使用すると、製品を損傷させたり、不適切な取り付けの結果を招き、安全に取り付けられない場合、誤作動や危険を引き起こします。

運転の注意をそらすこととなるような製品の操作はしないでください

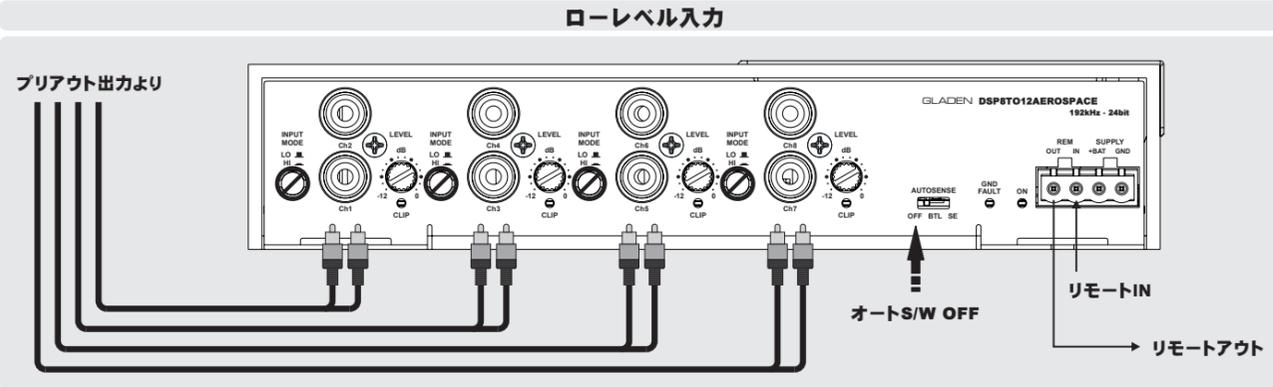
継続的な注意が必要な操作を行う時は、車を完全に停止してください。

操作を行うときは安全な場所に停めてください。事故につながる可能性があります。

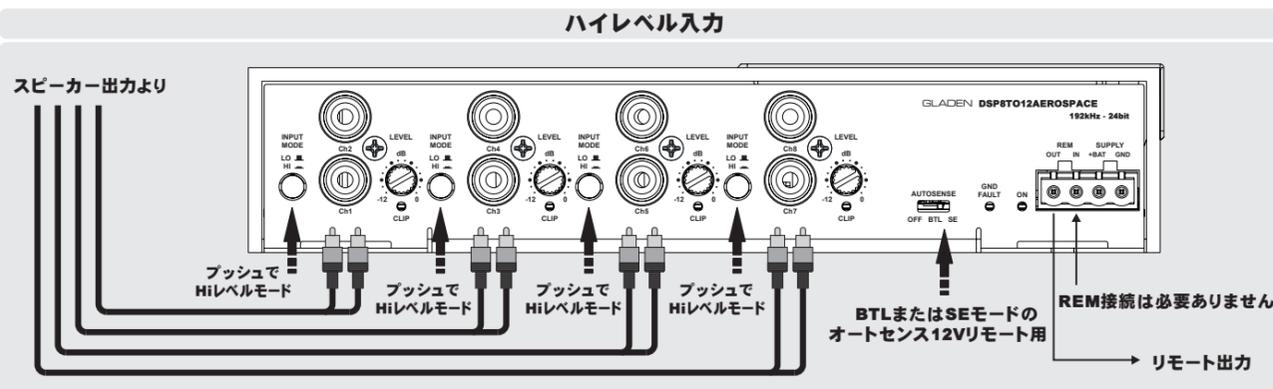
運転中は車外の音が聞こえる程度の音量ボリュームを維持してください

緊急車両の音や踏切などの音を遮るような過度の音量は、事故を引き起こす可能性があり危険です。また、車内での大音量はあなたの聴力にも支障をきたす可能性があります。

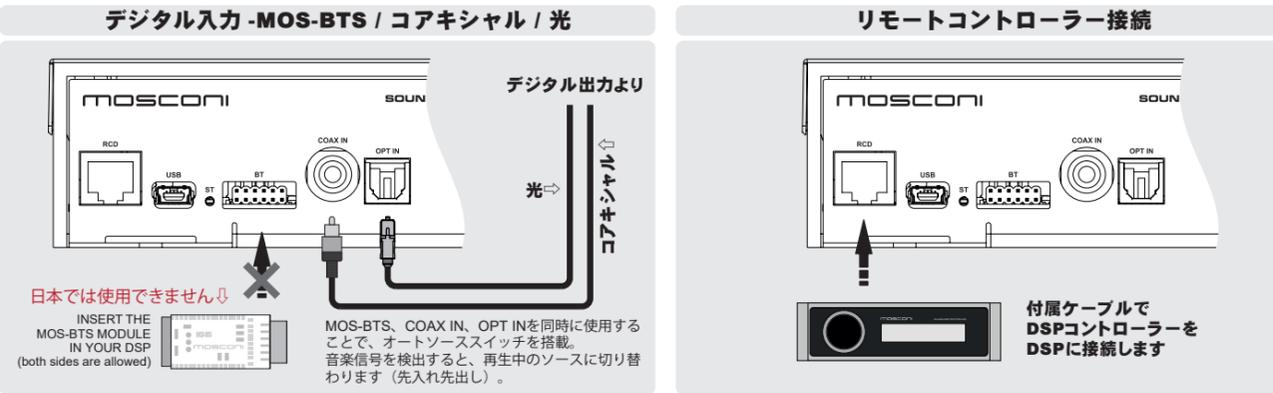
## アナログ接続



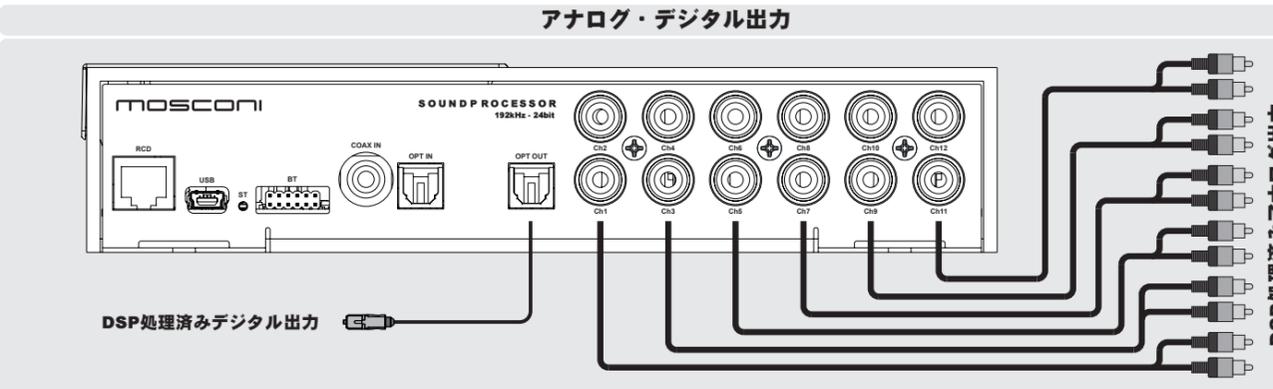
## アナログ接続



## その他の接続



## 出力



## "SE" or "BTL"

「SE」は「Single Ended」、「BTL」は「Bridge Tied Load」を意味します。

SE」と「BTL」は、いずれもヘッドユニットに搭載されている出力段の電氣的構成を意味しています。

古いヘッドユニットや安価なヘッドユニットは、出力段が低い（4Ωでチャンネルあたり10～15Wrms以下）、オートセンスを正しく動作させるためには、「SE」モードを使用する必要があります。

一方、最近のヘッドユニットはほとんどが高出力（4Ωで35～50Wrms）であるため、「BTL」モードの使用を推奨します。

2つの動作モードの主な違いは、「BTL」ではヘッドユニットの電源出力段がONかOFFかを検出し、ヘッドユニットの実際の状態に追従してオートセンスが動作することです。

「SE」は、ヘッドユニットの出力信号を常に一定の閾値と比較し、それ以上の値であれば、少なくとも1分間はオートセンス回路がアンプを作動させます。

1分以上、適切な信号が検出されない場合は、アンプがオフになります。

デフォルトの動作モードは「BTL」です。

この設定にはこのスイッチを使用する

使用しないでください

MOSCONI  
GLADEN AUDIO EUROPE

OWNER'S MANUAL  
WARNINGS  
WARRANTY CARD

## GLADEN DSP 8TO12 AEROSPACE

**重要** 当マニュアルをよく読み、当製品の規制や機能をよく理解してください。  
製品の安全な取り付け、使用のため、注意書きに従ってください。

Rev. 1.0 2016/09

MOSCONIは通知なく改良するための修正や製品の改良を行うことがあります。

また記載されている製品の有用性は変わることがあります。

このマニュアルに記載されている製品はすべてMOSCONI社製品の一部です。

マニュアルに記載されているトレードマークは記述的なものであり、すべての権限は各オーナーにより確保されています。当マニュアルのすべて、または一部の複製は禁じられています。

**禁止されています**

古い電気製品および電子製品の廃棄に関して

(分別廃棄を採用している国に適用)

製品やパッケージにマーク（ゴミ箱にXマークが入っているマーク）が書かれている場合、家庭ごととして廃棄することはできません。

古い電気製品や電子製品は特別廃棄物処理施設でのリサイクルが必要です。

詳細については、地方自治体に連絡し、お近くの廃棄物処理施設をご確認ください。

資源保全、また健康や環境を有する影響から守るため、正しいリサイクル、廃棄を行ってください。

この製品は車体より取り外さなければ、車体ごとの廃棄が可能です。

Designed and Manufactured in Italy by MOS - www.mosconi-system.it - www.mosconi.org

## LED表示灯

### 1：起動中

ゆっくり点滅(3秒間)：DSPが起動中で、eepromからコードを読み込んでいます。(ブート障害が検出された後、最大5回までこのプロセスを繰り返します)。

消灯(1秒以内)：MCU(制御装置)がフィルターなどの設定をレジスターに書き込んでいます。

点滅：1つのレジスターの書き込みに成功しました。

### 2：起動完了

消灯：起動に成功しました。

点灯：起動中にエラーが発生しました。

### 3：動作中

短く不規則な点滅：クリッピングせず出力されています。

速く等間隔な点滅：ADCにてオーバーフローが発生、入力は保護のためミュートになっています。

点灯：オートフェイドを検知し、メインミキサーの動作を停止しました。ただし、ずっと点灯したままの場合は別のミキサーが動作中で、バックフェイドタイム中です。

### 4：DSPソフトウェア操作

DSPソフトウェアからデータを送受信するたびにLEDは点滅します。

### 5：シャットダウン

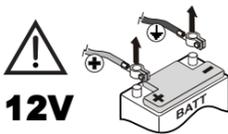
シャットダウン時には、ゆっくり点滅します。

### 6：特殊

MCUが何らかのエラーで停止した場合、LEDは点灯したままになります。

DSPソフトウェアよりファームウェアの送信が完了したとき、約1秒間点灯し(この時DSPはリセット動作中)

約2秒間早く点滅(この時アップデート動作中)、その後起動動作に入ります。



## WARNING!

取り付け、または取り外しの前に  
バッテリーリードを外してください

## 警告

12ボルト車にのみ使用のこと。

作業前にターミナルを外してから作業を行って下さい。

現在の負荷、ケーブルの長さに合ったパワーケーブルとゲージを使用してください。

当マニュアルの表は安全使用できる最小ゲージを示しています。

可能な限り利用可能な最大のゲージを使用してください。



## インストールの重要な手順

最大限のダイナミックレンジを確保し、同時にバックグラウンドノイズを可能な限り低減するためには、入出力の調整が必要です。

1.DSPからのオーディオ出力を遮断する。

2.DSPとアンプの入力レベルコントローラーを反時計回りに回して最小にします。

3.ピンクノイズを最大レベルで再生します。

4.入力ステータスLEDが点滅し始めるまで、DSPの入力ゲインコントローラーを時計回りにゆっくりと回します。  
次に、ゲインコントローラーを停止するまで元に戻します。

5.ソースを停止し、アンプを接続します。

6.DSPのアクティブクロスオーバーを事前に設定し、スピーカーを保護します。  
そのためには、スピーカーのメーカーが推奨する方法を守る必要があります。

7.ヘッドユニットを歪みのない最大レベルに設定して音楽を再生します(通常、最高レベルの75~80%)。

8.アンプのゲインコントローラーをゆっくりと時計回りに回転させ、希望の歪みのないレベルに到達させる。

